

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	日本語表現法応用Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	位田 絵美						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>この授業では、「日本語表現法基礎Ⅰ・Ⅱ」「日本語表現法応用Ⅰ」で修得した日本語知識をもとに、社会人として必要な日本語力を涵養するため、次の5つを到達目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文法を正しく理解し、社会人に相応しい文法表現が使用できる。 ・日本語の特性を正しく理解し、公的な場面での文章の作成ができる。 ・ビジネス敬語を正しく使うことができる。 ・論理的な表現とは何かを理解し、記述することができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を学修する。 						
日程と内容	<p>第1回：講義概要および履修心得・学修方法 第2回：書き言葉の技能 応用 要旨 第3回：書き言葉の技能 応用 要約 その1 第4回：書き言葉の技能 応用 要約 その2 第5回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その1 第6回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その2 第7回：書き言葉の技能 発展 論証 その1 第8回：書き言葉の技能 発展 論証 その2 第9回：話し言葉の技能 基礎 敬語 1 第10回：話し言葉の技能 基礎 敬語 2 第11回：話し言葉の技能 基礎 敬語 3 第12回：話し言葉の技能 応用 相手を考えて話す 第13回：総合応用 1 第14回：総合応用 2 第15回：まとめと応用 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	50%	計		100%		
授業到達目標の達成度	合格率91%を実現でき、到達目標は十分に達成できたと考える。						
反省点	特になし。						
来年度の計画	授業内で行う演習をさらに増やし、学生相互および学生と教員のコミュニケーションを一層向上させ、より双方向の実践型の授業を行えるようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容に高い評価をいただき、とてもうれしく思います。日本語の実践力を涵養するため課題を解くことを重視してきましたが、その際の学生諸君との質疑応答を高く評価していただけたことは、大変喜ばしい限りです。今後とも、よりよい授業を目指し努力したいと思います。						
履修登録者数	68名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	60名	合格率	91%